

おおの通信

第93号

大野元気づくり構想

美山大野36プロジェクト

平成28年3月末をもって廃校となる大野小学校。

大野地域では一昨年(2015)の11月に「大野小学校跡地利活用検討委員会」を発足し、検討を重ねてきました。2月27日に大野ふれあい館にて地域の要望案の最終報告会を開催し、3月25日に南丹市佐々木市長に要望書を提出しました。今後、平成28年4月に向けて詳細を検討していきます。この計画を「大野元気づくり構想」とし、36年間、地域の子どもたちを育ててくれた校舎に感謝し、地域の拠点として新たな役割で再出発する校舎に期待を込めて、その通称を「**美山大野36プロジェクト**」(みやまおおのさんろくプロジェクト)と名付けて活動していきます。

要望内容の詳細は大野振興会窓口にてご覧いただけます。

“美山大野36プロジェクト”

- ① 現校舎竣工より36年後、2016年から始まるプロジェクトです。
- ② 校歌にも歌われる長老山。その麓に広がる大野地域。
長老山麓(さんろく)がキーワードの1つ。
- ③ 20年後の2036年。地域の未来へつなげるプロジェクトです。



第30回大野ダムさくら祭りの案内

期間… 4月4日(土)～4月12日(日)

時間… 日～木 9:00～17:00 金・土 9:00～21:00

12日は16時まで

4月11日(土)は季節はずれの**大花火**

主なイベント

- 4月4日(土) じゃんけん大会
にじの子太鼓・雄進浩太鼓
- 4月5日(日) じゃんけん大会・大野ふるさと太鼓
ふるさと鍋(無料サービス)
- 4月10日(金) 灯火のさくら小径
- 4月11日(土) 虹の湖ウオーク・じゃんけん大会
園部吹奏楽団・季節はずれの**大花火**
- 4月12日(日) じゃんけん大会・ふるまい餅
『あぜみち』コンサート

皆さまに楽しんでいただけるイベントを用意しています。是非、さくら祭りにお越しください。左下に駐車場利用券を用意しましたので、切り取ってご利用ください。

さくら祭り
メッセージ花火
募集中

詳細は大野振興会まで

もみじ祭りを振り返る会

(大野地域製品の試食会)

1月25日に大野ふれあい館にて、第26回大野ダムもみじ祭りの反省や検証を行う会を、地域の製品の試食会もかねて開催しました。イベントの様子や今後の展望への意見を交換したりと、賑わいのある中で親睦を図ることもできました。テーブルにはさくら・もみじ祭り、大野屋店頭で並ぶ食品以外にも試作品がたくさん並び、それぞれの味やその背景にあるストーリーを知る機会になりました。また新たな味や生産者さんとも出会うことができ、地域の交流の輪を広げることができました。ほんのさわりなのですが、地域の「食」に触れることができた2時間でした。今後も不定期に開催できればと思います。



駐車場利用券
第30回大野ダム
さくら祭り

滋賀県甲賀市へ視察研修

好天となった3月4日、視察研修会に出発致しました。今回は農事組合法人『すこいええのう鮎河』を訪問しました。京都縦貫道路から新名神高速で2時間半、一路滋賀県甲賀市土山町鮎河へ。鮎河地区は大野地区より少し戸数は少ないですが、55歳以上が50%以上を占める年齢構成、大野屋のようなお店が1軒、小学校児童数24名(28年3月末で休校)、川沿いに1,200本の桜の木があり、さくら祭りを開催しているなど、大野地区と大変よく似た環境でした。この農事組合法人は、作り手のなくなった田を作業受託し、約50haの水田を管理経営されています。採れた米は販路を開拓し、高い価格で販売されており、特産野菜の生産、またコシヒカリ100パーセントで造った地酒(少し甘口で女性でも飲みやすいとか)も生産・販売されています。「郷土愛」をモットーに きばらなあかん まけへんでえ!! と20年30年先を見据えた魅力ある地域農業をめざして色々と取り組んでおられ、平成24年には「豊かなむらづくり全国表彰事業」で農林水産大臣賞を受賞されています。大変バイタリティのある顧問(前組合長)がおられて、九州から東京、また海外へと飛び回り、**品物より鮎河ブランド**を売っているとお話でした。「誰も助けてくれない 自分達の力で何とかしよう。子、孫が自信を持って生活してもらえることを、今自分達で作っておかなければ。」と熱く語られました。滋賀県農業公園「ブルーメの丘」で昼食。食事後、ドイツ・バイエルン地方の文化を融合させた施設を散策しました。後半は寒い風の中でしたが、有意義な視察研修会を終え帰路につきました。



男の料理教室 「そば打ち体験」

大野の榊さんに講師をお願いして、そば打ち体験をしました。先生と体験者の作ったそばを参加者で試食しました。そばの打ち方、切り方、ゆで方により味や香りが微妙に異なり、そば打ちの奥深さを少し垣間見ることができました。最近大野地区に来られた2組のご家族も参加され、親睦を深めることができました。



今後の予定

4月16日(木) 国定公園地元説明会 大野ふれあい館
4月24日(金) 大野振興会定期総会 大野ふれあい館

冬季スポーツ大会

2月8日、大野小学校体育館にて、平成26年度冬季スポーツ大会を開催しました。

多くのチームが当日参加された方々で組まれた即席チームでしたが、チームワーク良く、午前はビーチボールバレー、午後はフロアカーリングと、日頃の運動不足の解消と親睦を深めた有意義な大会となりました。また小学生が美山町剣道大会に向けて、気合の入った練習を披露してくれました。



ビーチボールバレーの試合風景



フロアカーリングの試合風景



バレーの試合の合間に卓球



小学生の剣道の練習披露

大野地区人権学習会

従来の学習会とは違い、「防災訓練を活用した人権研修会」と題して、人権研修会への参加を多くの人にしてもらうためにどのように取り組んだかを長谷区長 坂田明男氏に講演していただきました。

長谷区では、研修会の実施にあたって、①固定化している研修内容をどうするか。②参加者をどうして増やすかを検討。①は今までに経験のないイラストを利用した「ワーキング方式」を採用。②は他の行事と組み合わせる。中でも関心の高い防災意識と組み合わせること。その結果、防災訓練参加者約63%、人権研修会参加者約56%といずれも大幅に増えたこと、人権が普段の生活の中にあること、区内の装備が不足していること、住民同士の交流が深まった等の多くの成果が得られたとお話でした。聞かせていただいて、最初はただ単に人集めのために他の行事と組み合わせられたのだと思っていたが、防災対策は人権問題なのだ気づかされた。また用意周到な準備(例:炊き出し訓練・140人全員の任務分担を決めたこと・組ごとの避難等)には感心させられました。詳しくは、講演資料をご覧ください。(大野振興会にあります)